

補助事業番号 27-118

補助事業名 平成27年度 三味線皮の代替に関する人工合成皮による試作品評価補助事業

補助事業者名 東京藝術大学 小島直文

## 1 研究の概要

<https://geidai3sen.wixsite.com/nagauta>



本研究において三味線に用いられているイヌ・ネコ皮の代替皮としてカンガルー皮と合成皮を対象とした代替皮の開発を行った

## 2 研究の目的と背景

三味線は日本の古典芸能において最も重要な役割を担う楽器である。従来からイヌとネコの皮が用いられてきたが動物愛護意識の高まりによって急速に入手が困難になり、危機的な状況を迎つつある。本研究では三味線に用いられているイヌ・ネコ皮の代替皮としてカンガルー皮と合成皮を対象とした代替皮の開発を行い、音色・音量・弾き心地等がプロ演奏家や愛好家に許容される範囲に達することを目標とした。

## 3 研究内容

### (1) 代替皮の開発

カンガルーおよび合成樹脂製の代替皮を作製した。

カンガルーについては原皮を入手し、なめし・裁断・張りの工程において技術改良を行った。また、プロ演奏家からの評価に基づき厚み等の調整を行った。合成皮については材質としてアラミド繊維が適することが分かった。さらに経糸を撚糸とすることでより良い結果を得た。

### (2) 演奏家による評価等

様々なジャンルの三味線の演奏家にカンガルー皮三味線の評価を依頼した。長唄のほか地唄、清元、民謡、津軽、義太夫の演奏家にカンガルー皮を提供し代替皮を張った三味線の音色の評価を依頼した。また、皮張りを行う三味線製作者にもカンガルー皮を提供し張り方についての検討を依頼した。とくに長唄と民謡において高評価を得た。

また、演奏会において試奏を行い、アンケート等による評価を行った。

### (3) 成果

以上の評価の結果、カンガルー皮についてはイヌ皮を凌駕する高い評価を得た。最高級とされるネコ皮を代替するレベルの皮を開発することができた。また、製作過程での技術蓄積等の整備により商業ベースでの普及が可能な段階に達した。合成皮については音色・音量に課題を残したが、繊維の選定、織布方法に関する知見を得ることができ、今後の開発の方向性と目標を明確とすることができた。

## 4 本研究が実社会にどう活かされるかー展望

カンガルー皮については音色が高い評価をえれていることに加え耐久性もあるため、今後、プロ演奏家や愛好家の間にカンガルー皮の使用が広まることが期待できる。

## 5 教歴・研究歴の流れにおける今回研究の位置づけ

日本古来の伝統芸能には無くてはならない楽器の三味線、演奏家・指導者の立場で、現在調達困難になった皮の代替の合成皮ができ、新たな段階のスタートとなった。

## 6 本研究にかかわる知財・発表論文等

無し

## 7 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

代替皮（カンガルー皮および合成皮）を張った三味線

(<https://geidai3sen.wixsite.com/nagauta>)

### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

研究成果報告書

## 8 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 東京藝術大学音楽学部邦楽科

(トウキョウゲイジュツダイガクオンガクガクブホウガクカ)

住 所： 〒110-8714

東京都台東区上野公園12-8

申 請 者： 教授 小島直文 (コジマ ナオブミ)

担 当 部 署：

E-mail： [kojima.naobumi@ms.geidai.ac.jp](mailto:kojima.naobumi@ms.geidai.ac.jp)

U R L： <https://geidai3sen.wixsite.com/nagauta>